

スケジューラーの設定

スケジューラーとは、アプリケーションサーバーから定期的に desknet's NEO のデータをチェックし、各種通知メール/アラームメールの送信や、ウェブメールの自動受信を実行するための常駐アプリケーションです。

- スケジューラーの起動オプションにより、データをチェックする間隔を5分間隔で指定することができます。
- スケジューラーを複数のサーバー上で動作させることはできません。アプリケーションサーバーが複数台で構成されている場合は、いずれか1台のサーバーでスケジューラーを起動します。
- スケジューラーが既に起動している状態で、さらにスケジューラーを起動した場合、先に起動していたスケジューラーは自動的に終了し、後から起動されたスケジューラーのみが動作します。
- データベースへの接続に失敗すると、スケジューラーは自動的に終了します。サーバーメンテナンスを行う際は注意してください。

本書では、スケジューラーを毎朝 8:30 に自動起動するよう構成する手順について説明します。システムの運用形態(バックアップするタイミングやサーバーメンテナンスの頻度など)に応じ、起動する頻度やタイミングなどを調整してください。

Windows Server 2012 環境への導入

Windows Server 用のスケジューラーモジュール(zscheduler.exe)、またスケジューラー起動用のバッチファイル(zscheduler.bat)は、アプリケーションサーバー上の desknet's NEO ホームディレクトリに配置されています。

以下の手順で、バッチファイルの修正と、起動タスクの登録を行います。

- (1) アプリケーションサーバーのローカル Administrators 権限を持ったユーザーで、アプリケーションサーバーにログインします。
- (2) Windows エクスプローラーで desknet's ホームディレクトリを開き、テキストエディタで zscheduler.bat を開き、必要に応じて desknet's ホームディレクトリのパスやチェック間隔を修正します。

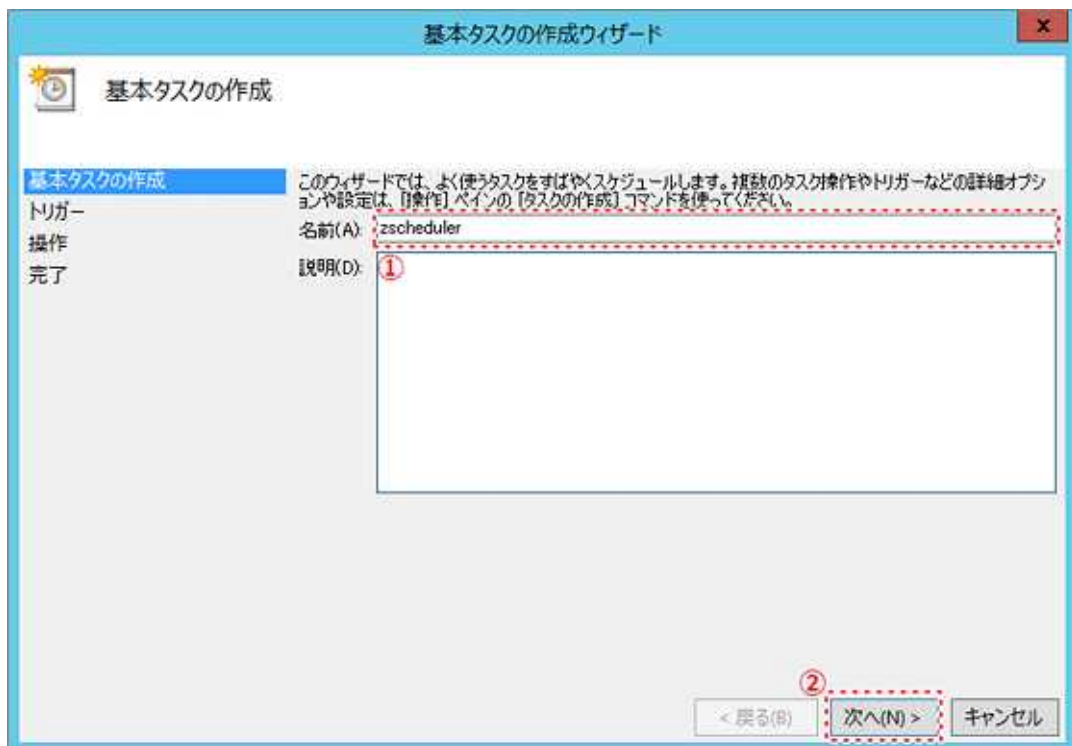
例: zscheduler.bat の修正例

```
"C:¥Inetpub¥Scripts¥dneo¥zbatscheduler.exe" "C:¥Inetpub¥Scripts¥dneo" 5←
```

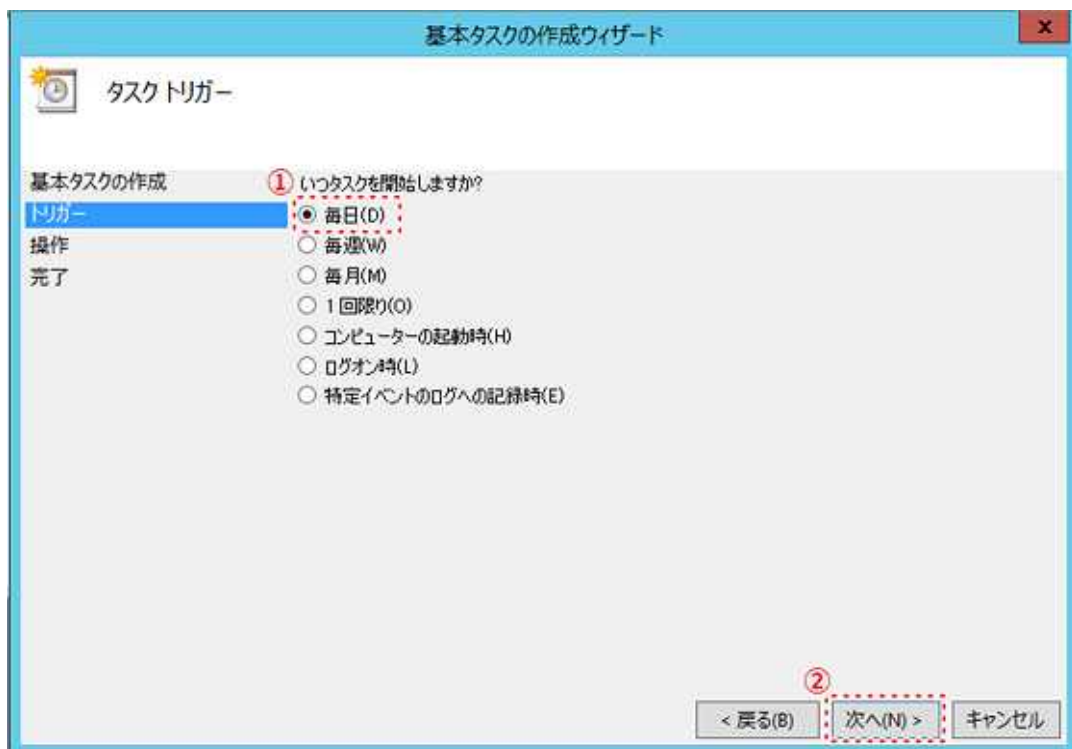
- zscheduler.exe :スケジューラーモジュールのフルパス
- 引数 1 :desknet' NEO ホームディレクトリのパス
- 引数 2 :チェックする間隔(単位:分、5分単位)

- (3) スタートメニューから管理ツールの「タスクスケジューラー」を開き、操作ウィンドウから「基本タスクの作成」をクリックします。

- (4) 名前に「zscheduler」と入力し、「次へ」をクリックします。



- (5) 「毎日」を選択し、「次へ」をクリックします。



- (6) 開始を翌日の「8:30」に、また間隔を「1」日にそれぞれ設定し、「次へ」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード

毎日

基本タスクの作成
トリガー
毎日
操作
完了

開始(S): 2013/10/24 8:30:00 タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(C): 1 日

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- (7) 「プログラムの開始」を選択し、「次へ」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード

操作

基本タスクの作成
トリガー
毎日
操作
完了

タスクでどの操作を実行しますか?

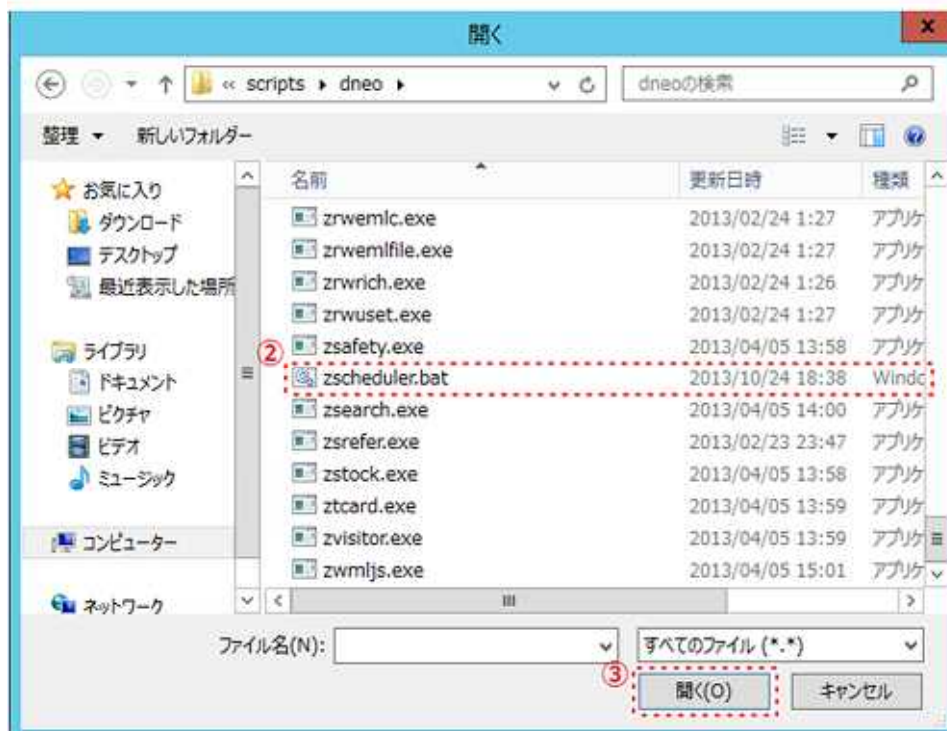
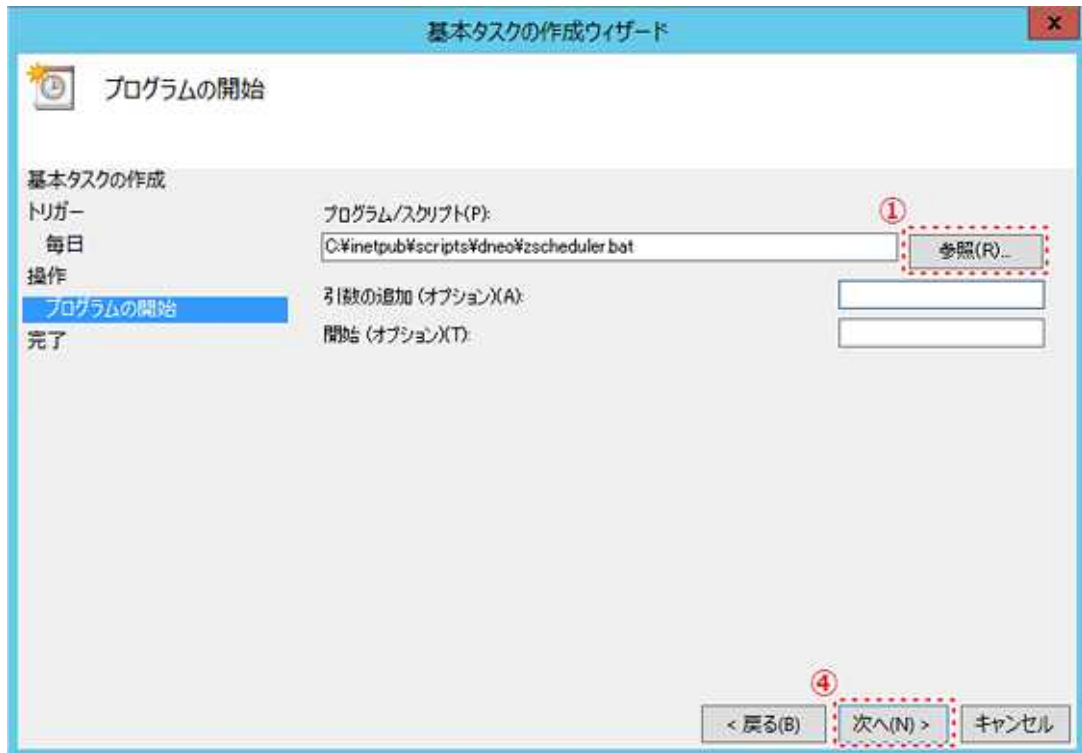
① プログラムの開始(T)

電子メールの送信 (非推奨)(S)

メッセージの表示 (非推奨)(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- (8) 「参照」をクリックし、desknet's ホームディレクトリの「zscheduler.bat」を選択して「開く」をクリックします。(zscheduler.exe と間違えないよう注意してください。種類が「Windows バッチファイル」となっているものが「zscheduler.bat」になります)



- (9) 「[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く」のチェックを ON にし、「完了」をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

トリガー

毎日

操作

プログラムの開始

完了

名前: zscheduler

説明:

トリガー: 毎日: 毎日 8:30 に起動

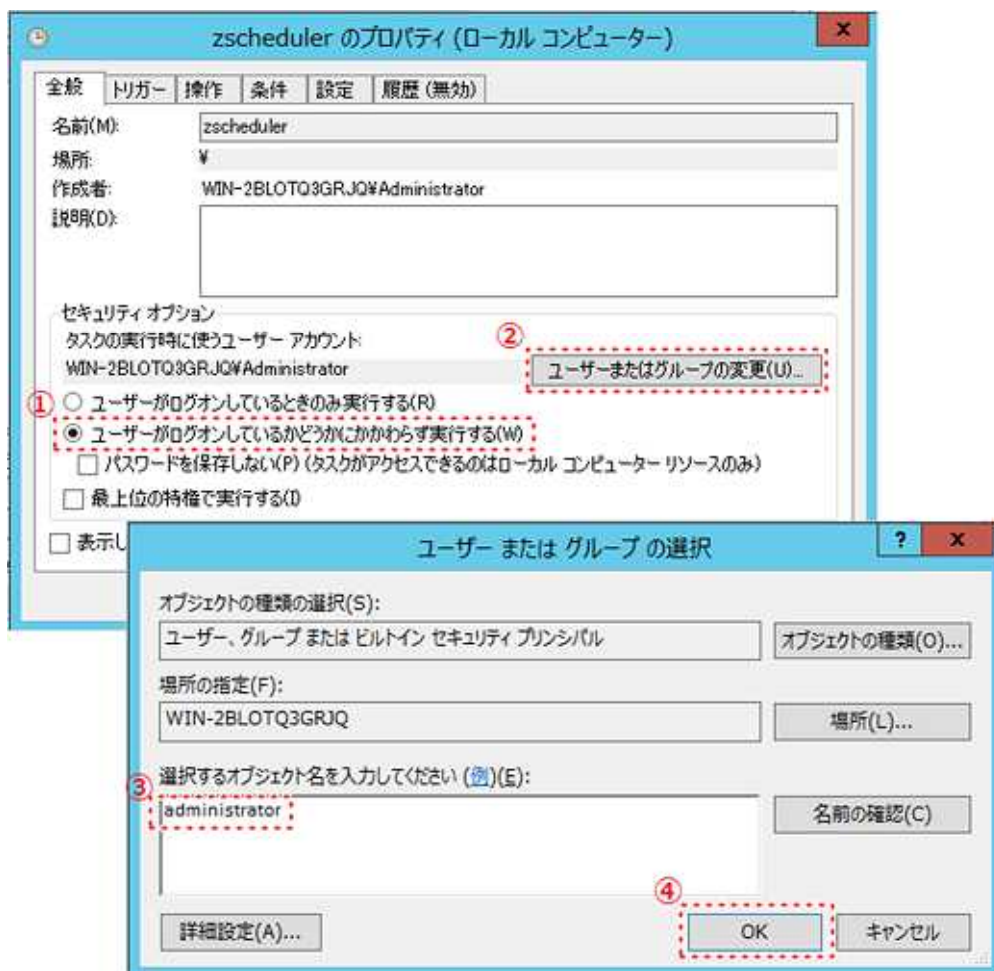
操作: プログラムの開始: C:\inetpub\scripts\dneo\zscheduler.bat

① [完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く:
[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

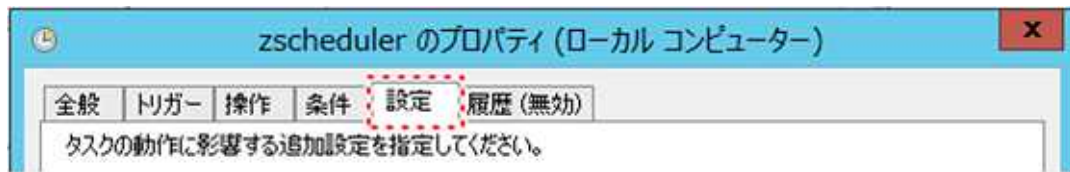
② < 戻る(B) 完了(F) キャンセル

(10) 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」のチェックを ON にし、「ユーザーまたはグループの変更」からデータ/ファイルフォルダへのアクセス権限を持ったユーザー(以下の例を参照)のユーザー名を指定します。

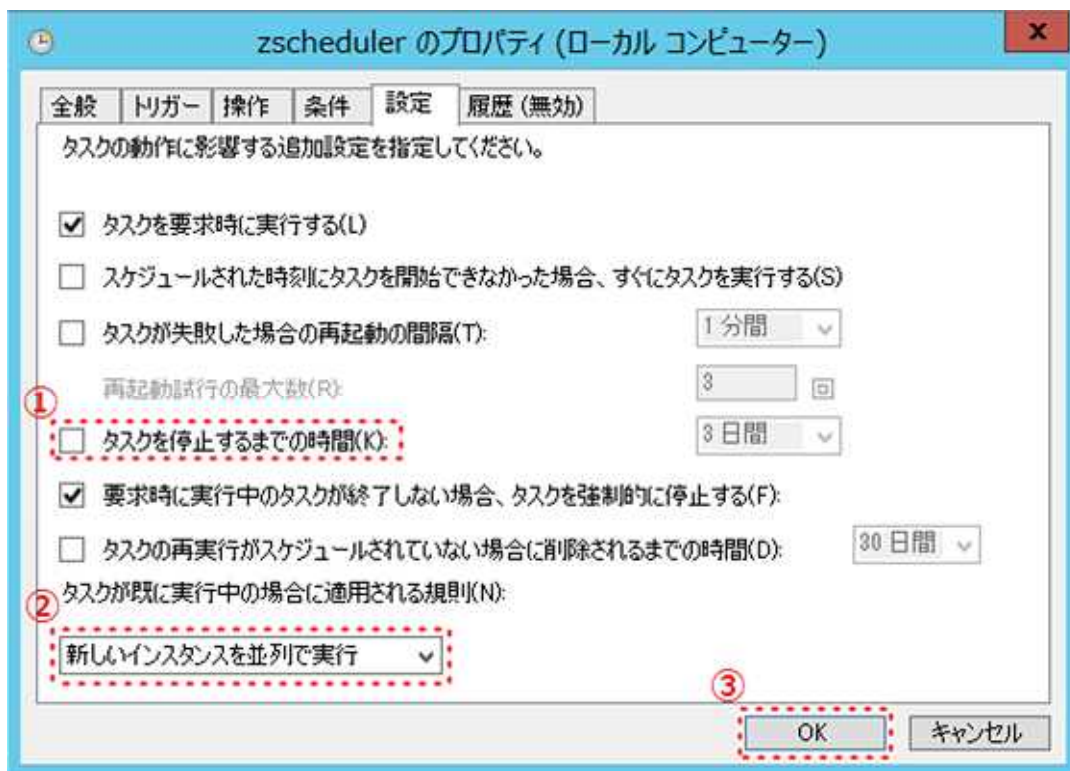
- アプリケーションサーバーのローカルディスク上にデータ/ファイルフォルダを配置している場合: ローカル Administrators 権限を持ったユーザー
- 別サーバーにデータ/ファイルフォルダを配置している場合(ワークグループ構成): ローカルに作成した dneo ユーザー
- 別サーバーにデータ/ファイルフォルダを配置している場合(ドメインメンバー構成): サービス用のドメインユーザー



(11) 続けて「設定」タブをクリックします。



(12) 「タスクを停止するまでの時間」のチェックボックスを OFF、「タスクが既に実行中の場合に適用される規則」を「新しいインスタンスを並列で実行」に設定し、「OK」をクリックします。



以上で、スケジューラーの構成は完了です。

- 手動でスケジューラーを起動する場合は、画面左のツリーから「タスクスケジューラーライブラリ」をクリックし、「zscheduler」を右クリックしてメニューから「実行する」を選択します。
- スケジューラーモジュールの起動状態は、Windows タスクマネージャーのプロセス一覧か、コマンドプロンプトから「tasklist」コマンドを実行することで確認できます。
- さらに細かい間隔で起動を行う場合や、その他の起動オプションを指定する場合は、登録されたタスク「zscheduler」のプロパティを開き、「トリガ」タブからトリガの編集を行います。

注意事項
短い間隔でスケジューラーを起動する場合、スケジューラーのチェック間隔より長い時間を指定するとともに、最低でも前回起動から 1 時間は間を空けるよう設定してください。